



イノスマンスリー

INOS Monthly

伝えたい！生活のヒント

日用品をながーく使うための8つのワザ

* 乾電池は太陽パワーで復活する

切れたかなと思った乾電池でも、日光浴させるとしばらく使えるようになる。また、布で5～10分程度、乾電池をこすると摩擦によって寿命がのびる。新品同様とはいかないが、この方法でリモコンを操作する程度には復活可能。覚えておけば、イザというときに役立つはず。

* 古いシリカゲルはレンジでチンする

古くなったシリカゲルは捨てる前にもう一度、復活させる手がある。方法はレンジでチンするだけ。たいてい効果の有無によって色が変わるようになってきているため、復活したかどうかの判断は一目瞭然だ。色の変化を見ながらチンして、もとの色に戻ればOK。

* くっついた切手は冷蔵庫に入れればもどおりに

未使用の切手同士がくっついてしまって困った。こんなときは、切手を冷蔵庫に数時間入れておけばよい。庫内でのりが冷やされて固まり、切り離すことができる。のりの効果も落ちないので安心して使えるワザだ。

* 写真の指紋も洗剤におまかせあれ

ぬるま湯に台所用中性洗剤を溶かしたものを用意する。水溶液を指先に巻いた；ントんとたたいて……。最後にやわらかい布でやさしくふけば、ベタベタ指紋は消えている。



日用品をながーく使うための8つのワザ

* 書けないボールペンには遠心力

インクの残量はあるのに、書けないボールペンには、輪ゴムとセロテープを用意。ペンに対して垂直になるように輪ゴムをはりつける。次にゴムの両端に指を入れてねじり、離すだけ。ペンが回転することで、ペン先にたまった空気が抜けて、書けるようになるのだ。

* 使い捨てカイロを二度使う方法

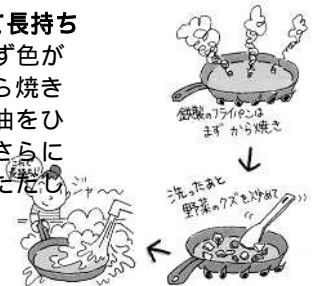
短時間しか使わなかった使い捨てカイロは、ビニール袋に入れて密封保存しておけば、もう一度使える。カイロは、細かい鉄粉が空気に触れて反応することで発熱する。つまり鉄粉が燃え尽きるまでは、熱を発することが可能なのだ。保存の際は、できるだけ空気を抜くのがコツ。

* 切れ味の悪くなったハサミはアルミホイルで直す

刃がすり減ったハサミは、アルミホイルを数枚重ねたものを何度か切ると、ホイルによって砥がれるため、切れ味がよくなる。あまりにも切れ味がひどい場合は、サンドペーパーや割り箸をこすってもよい。

* 鉄製のフライパンは熱して長持ち

新品のフライパンは、まず色が変わるくらいまで強火でから焼きする。軽くすすいでから、油をひき、野菜クズなどを炒め、さらにお湯で洗えば長持ちする。ただし、このワザは鉄製にのみ有効。



コラ

冷蔵庫に入れるものと入れないものを区別して賢く保存

野菜を買うと、すぐに冷蔵庫に入れて保存しがちですが、冷暗所でも保存できるものが結構あります。たとえば、かぼちゃ、にんじん、玉ねぎ、いも類、バナナ、みかん、なしなどは風通しのよい冷暗所で保存可能です。これは、スーパーで売られていたときに冷蔵されていたかどうかで、判断できます。

これで無駄な電力を使わずに、野菜が長持ち。ちなみに果実は食べる数時間前に冷やすだけで十分。長く冷蔵しておく必要はありません。

『 [絵解き] 暮らしの知恵袋 』 『 達人おばあちゃんの家事術 』 (PHP 研究所) より
『 [絵解き] 暮らしの知恵袋 』 からお役立ち情報、次号もお楽しみに！

全国に広がる家づくりネットワーク
INOS
イノスグループ



株式会社 **田中工務店**

本社 京都府舞鶴市倉谷1016番地
〒624-0906 TEL0773(75)2227(代)
FAX0773(77)1667

0120-185-750